

教科（科目）	音楽	学年（系）	1学年
使用教科書	中学生の音楽1（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社）		
副教材等	新版コーラスフェスティバル（正進社）		

## 1 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2)音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

## 2 指導の重点

表現と鑑賞の能力を育てる。表現では音楽への興味と関心を養い、基礎的な表現の技能を身につける。鑑賞では、音楽の良さや美しさを味わい、幅広く鑑賞する能力を育てる。

## 3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	備考
4	歌唱	・校歌（荻久保和明）	(歌唱) ・美しく響きのある発声の為の基本的姿勢の説明	7	・腹式呼吸の説明 ・アルトリコーダーの仕組み ・タンギングの説明 ・校歌の歌詞について説明
	器楽		・校歌の練習		
5	鑑賞	・We' ll Find The Way（杉本竜一） ・喜びの歌（ベートーヴェン）	・簡単な輪唱を歌い、ハーモニーする楽しさを感じる (器楽) ・アルトリコーダーの基本的な吹き方を身につける		
6		・その先へ（山崎朋子）	(歌唱) ・伴奏のリズムやハーモニーを感じ、明るくのびのびと歌わせる	6	・和音についての説明 ・リコーダーの指使いを身につける
7		・聖者の行進（アメリカ民謡）	(器楽) ・アルトリコーダーで、簡単な旋律を吹く		
9		・春（ヴィヴァルディ） ・君をのせて（久石譲） ・コーラスフェスティバルより	(鑑賞) ・バロック音楽を味わい楽しもう (合唱) ・日本のポップスを響きのある声で力強く歌おう ・文化祭の合唱コンクールの選曲、練習	6	・作曲者とその曲の背景の説明 ・各パートで音を取り、互いに良く聴く ・合唱指揮者・伴奏者の決定
10	歌唱（合唱）	・コーラスフェスティバルより	(合唱) ・校内発表会にむけて、クラス一丸となって合唱曲をつくりあげよう	6	・クラス全員が協力し、楽しく合唱をする
11	鑑賞 器楽	・オーラリー（プルトン）	(器楽) ・アルトリコーダーで簡単な曲を合奏する	5	・豊かな響きで合奏する

12	創作	<ul style="list-style-type: none"> <li>魔王（シューベルト）</li> <li>音風景の創作</li> </ul>	(鑑賞) <ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ・ロマン派の歌曲を聴く</li> </ul> (創作) <ul style="list-style-type: none"> <li>音素材を生かして場面のイメージを表現しよう</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>作曲者と曲の背景、歌詞の内容の説明</li> <li>イメージを表現につなげる工夫をさせる</li> </ul>
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>平調「越天楽」</li> <li>浜辺の歌（成田為三）</li> </ul>	(鑑賞) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統的な雅楽を聴く</li> </ul> (歌唱) <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歌曲を歌い継ごう</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>雅楽、楽器、時代についての説明をする</li> <li>歌詞の説明とふさわしい発声</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>COSMOS（ミマス）</li> <li>校歌</li> </ul>	(合唱) <ul style="list-style-type: none"> <li>学年末のまとめにふさわしい合唱曲を歌おう</li> <li>式歌の練習</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>各パートの音を正確にとる</li> <li>歌詞を明確に発音する</li> </ul>
3				3	

計 45 時間(48分授業)

#### 4 課題・提出物等

学習プリントや音楽鑑賞の感想文など、指示のあったときに提出してください。

#### 5 評価規準と評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価基準
曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	<評定> 各観点の合計点達成率 5…85%以上 4…75%以上 3…50%以上 2…40%以上 1…40%未満
以上の観点の他に <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の聞く、学ぶ態度はよいか</li> <li>自分勝手な行動はしていないか</li> <li>忘れ物はないか</li> </ul> (歌唱) <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢が正しく、美しい発声をしているか</li> <li>歌詞をよく理解しているか</li> <li>美しい音色で表現しているか</li> </ul> (リコーダー) <ul style="list-style-type: none"> <li>音程・リズムは正確か</li> <li>正しい指使いか</li> <li>タンギングは正確か</li> </ul> (鑑賞) <ul style="list-style-type: none"> <li>曲の歴史、作曲者について、内容をよく理解しているか</li> <li>学習プリント、感想文の提出を忘れているか</li> </ul> (創作) <ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの工夫と試行錯誤がみられるか</li> </ul>			

・課題を理解しているか  
を踏まえ、総合的に評価いたします。

## 6 担当者からの一言

音楽を心から感じ、歌う楽しさ、合わせる美しさを実感してほしいと願っています。